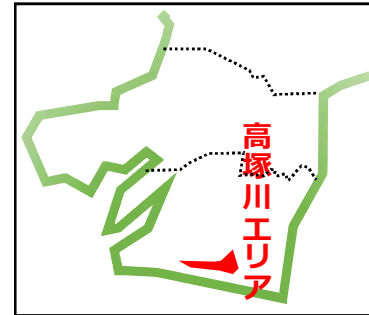


①高塚川エリア 浸水対策計画

エリアの現状 (エリア面積7.06km²)

【地理・地形、人口・資産の現状】

- 中央区 (旧南区と旧西区) に位置し、かつて沼があった所を埋め立てて、形成されたため、**ほぼ全域が低平地**である。
- この沼があったところを西から東へ通称「高塚川 (正式名称 : 新橋1号排水路及び篠原15号排水路)」が流れ、**二級河川馬込川へ合流**している。
- 近年、農地の**宅地化**が著しく進行している。
- **防災拠点である可美公園**や**主要な交通網**として都市計画道路の鴨江倉松線や上島柏原線が通っている。



【排水施設の整備状況】

- 高塚川は、明治期の新田開発に伴い、**農業用排水路として整備され、現在も用排水路として利用**している。
- 馬込川の合流点には「**田尻排水機場**」が整備されており、馬込川水位が高い時は、**ポンプにより強制的に排水**している。
- 公共下水道の**雨水調整池等**や**校庭貯留の整備**が完了した。
- 現在、高塚川最下流部へ**新ポンプ場の整備**を進めている。

【浸水被害】

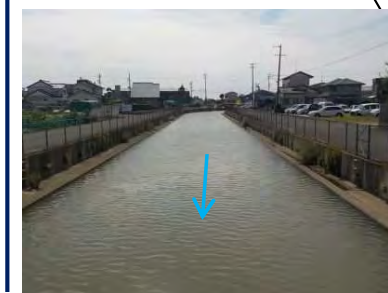
- 近年、大雨による浸水が頻発しており、特に**平成27年9月7日台風第18号の降雨**では、**床上浸水16戸、床下浸水71戸**の大きな浸水被害が発生したため、静岡県と市の関係部局が連携し、緊急的な行動計画「**高塚川流域浸水対策アクションプラン**」を策定・実施している。
- 令和4年9月23日台風第15号では、(準)高塚川に接続する水路からの内水氾濫が発生し、**床上浸水4戸、床下浸水18戸**の浸水被害が発生した。



高塚川の水位上昇による浸水 (平成27年9月降雨)



田尻排水機場



かんがい期の高塚川



中央区高塚町の道路浸水 (平成27年9月降雨)

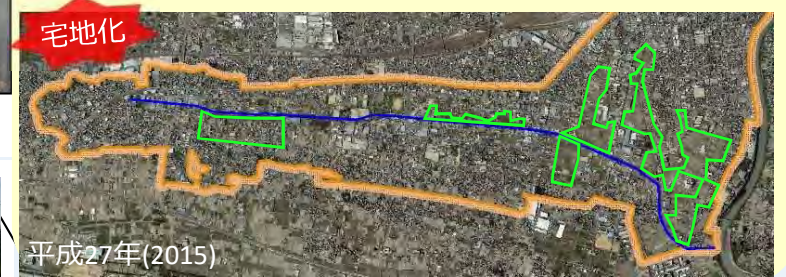


明治32年(1899年)の高塚川流域の状況

農地が大幅に減少し、宅地化が進展している。



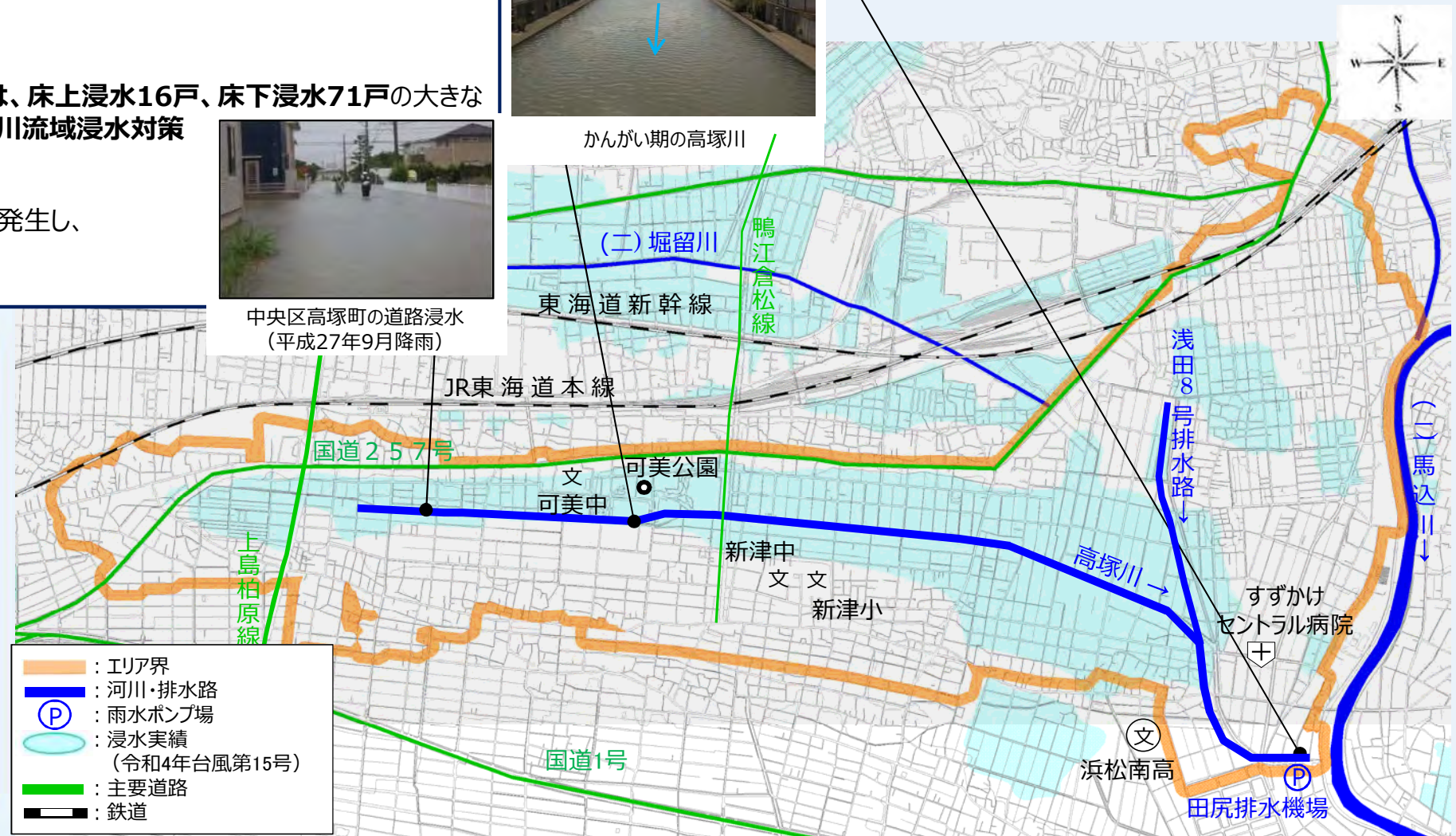
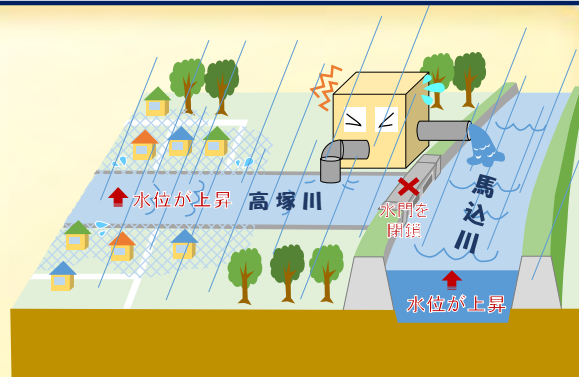
昭和47年(1972)



平成27年(2015)

浸水原因

- 馬込川は、降雨時に**水位が上昇しやすい**。
- 高塚川は農業用排水路として整備したため、**河川断面が小さく水を流す能力が不足**している。
- 田尻排水機場の**排水ポンプ**は、老朽化により**排水能力が低下**している。
- 高塚川の**河床勾配は緩く**、藻・水草も生い茂り**水が流れにくい**状況であった。
- 近年、**農地の宅地化**が著しく、エリア内の**保水能力が低下**し、**雨水の流出量が増加**している。



<対策目標> 平成27年9月7日から8日と同規模の降雨規模に対し、令和7年度までに「床上浸水の解消」を目指す

<高塚川エリアの対策>

- 対策実施は、関係部局が情報を共有し、連携して進めます
- 着手可能な対策を実施し、治水安全度の早期向上を図ります
- リスク情報を積極的に発信し、より多くの市民の方々が利用できるよう努めます

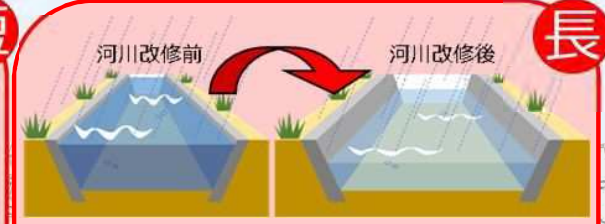
区分・対策メニュー	担当課	対策概要	対策期間
1. 水を「ながす」			
1-1 河川・排水路の整備	浜松土木事務所工事課 (静岡県)、道路保全課 中央土木整備事務所、 河川課	(二)馬込川の改修 (白羽橋架け替え) (準)高塚川の改修	長
1-2 ポンプ施設等排水機能の強化	中央土木整備事務所、 河川課	高塚川ポンプ場の新設	短
1-3 逆流防止施設の整備	農地整備課 西部農林(静岡県)	田尻排水機場の更新	完
1-4 水路や道路側溝等の維持管理	中央土木整備事務所 農地整備課	フラップゲート設置 浚渫・除草等	短 継
2. 水を「ためる」			
2-1 水田貯留(田んぼダム)可能性検証	農地整備課	田んぼダムの取組推進	中
2-2 校庭等貯留施設の整備	河川課、教育施設課、 中央土木整備事務所	江西中 浅間小	中
2-3 公園貯留施設の整備	公園管理事務所	可美公園	完
2-4 下水道施設の整備	下水道工事課	貯留施設の整備 水源転換等対策 農地保全のための 地域の共同活動支援	完
2-5 農地の保全	農地整備課		継



**下水道施設の整備
(下水道工事課)**
可美公園地下に1万㎡の雨水貯留施設を整備しました。



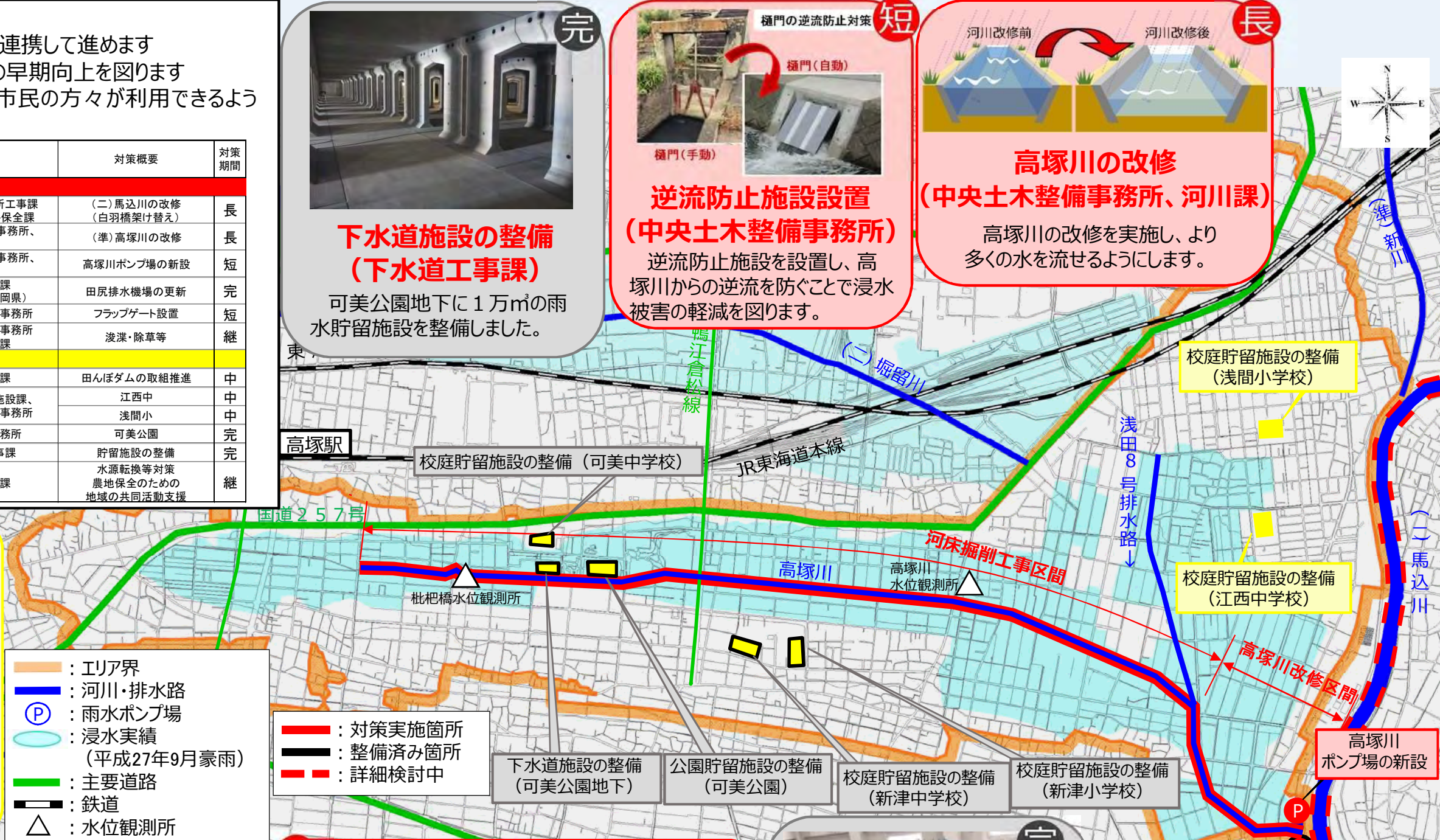
**逆流防止施設設置
(中央土木整備事務所)**
逆流防止施設を設置し、高塚川からの逆流を防ぐことで浸水被害の軽減を図ります。



**高塚川の改修
(中央土木整備事務所、河川課)**
高塚川の改修を実施し、より多くの水を流せるようにします。



**校庭貯留の実施
(教育施設課、中央土木整備事務所)**
学校の校庭において雨水を貯留する施設を整備し、川に流れ込む水の量を減らします。



- : エリア界
- : 河川・排水路
- (P) : 雨水ポンプ場
- : 浸水実績 (平成27年9月豪雨)
- : 主要道路
- : 鉄道
- △ : 水位観測所
- : 対策実施箇所
- : 整備済み箇所
- : 詳細検討中



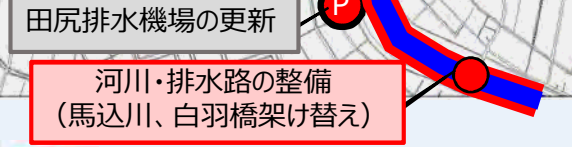
馬込川の改修,白羽橋架け替え (県、道路保全課)
河床掘削や、橋梁の架け替えを実施し流下能力の向上を目指します。



**水路や道路側溝の維持管理
(中央土木整備事務所、農地整備課)**
水路や道路側溝を適切に維持管理し、流下能力を正常に保ちます。



田尻排水機場の更新 (県)
老朽化した排水機場の更新を行い機能回復を図りました。



**農地の保全
(農地整備課)**
地域の共同活動を支援し、農地の保全等を行うことで、農地が持つ雨水貯留浸透機能を十分生かします。

②堀留川上流エリア・③堀留川低平地エリア・④鴨江排水路エリア 浸水対策計画

エリアの現状 (エリア面積 10.26Km²)

【地理・地形、人口・資産の現状】

- 中央区(旧中区)の中心部より西側に位置し、東から西へ二級河川堀留川が流れ、新川へ合流している。
- エリア全体に低平地が広がっており、特に堀留川沿川は標高3m未満の低い土地が広がっている。
- エリア東側は古くからの市街地や、JR浜松工場等が立地している。一方西側は農地が多い地域である。
- 主要な交通網として、南北に都市計画道路 鴨江倉松線、上島柏原線があり、東西は浜松雄踏線が通っている。



【排水施設の整備状況】

- 堀留川と新川合流点には「西部排水機場」があり、新川水位が高い時は、ポンプにより強制的に排水している。
- 主要な排水路として「鴨江排水路」や「蜷塚排水路」、「堀留運河(菅原1号排水路)」を整備している。
- 降った雨を一時的に貯める施設として「鴨江雨水調整池」、学校のグラウンドを活用した校庭貯留施設を整備している。

【浸水被害】

- 近年大雨による浸水被害が頻発しており、平成27年9月7日台風第18号の降雨では、床上浸水1戸、床下浸水1戸の被害が発生したほか、広範囲に道路冠水等による交通障害が発生した。
- 令和元年7月22日豪雨では床上浸水14戸、床下浸水23戸の浸水被害のほか、広範囲で道路冠水等の交通障害が発生した。
- 令和4年9月23日台風第15号では、床上浸水5戸、床下浸水10戸の浸水被害が発生した。



鴨江雨水調整池(内部)

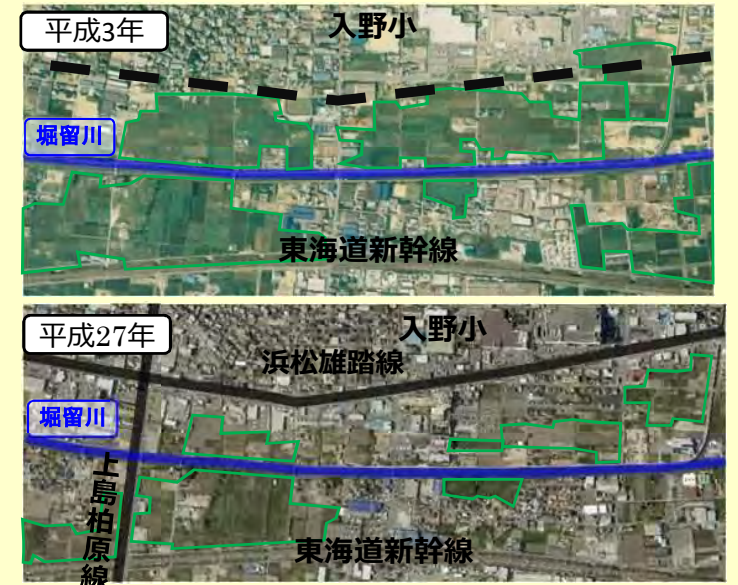


鴨江排水路



中央区若林町の道路冠水(平成27年9月降雨)

浜松雄踏線の開通等に伴い、農地が大幅に減少し、宅地化が進展している。



浸水原因

- 堀留川は、川幅が狭く、降雨時に水位が上昇しやすい。
- 堀留川は低平地を通ることから河床勾配が緩く、水が流れにくい。
- 潮位の影響を受けやすく、満潮時には堀留川から新川に逆流することがある。
- 堀留川沿川は地盤が低いため、堀留川水位が上昇すると接続している排水路からの自然排水が難しくなる。
- 過去に農業用排水路として整備した排水路は、排水能力が不足している箇所もある。
- 近年の急激な宅地化に伴う農地の減少により、エリアの保水能力が低下している。



<対策目標> 令和元年7月豪雨と同等規模の降雨に対し、「床上浸水の概ね解消」を目指す

<堀留川上流・堀留川低平地エリア・鴨江排水路エリアの対策>

- 対策実施は、関係部局が情報を共有し、連携して進めます
- 着手可能な対策を実施し、治水安全度の早期向上を図ります
- リスク情報を積極的に発信し、より多くの市民の方々が利用できるよう努めます

区分・対策メニュー	担当課	対策概要	対策期間
1. 水を「ながす」			
1-1 河川・排水路の整備	浜松土木事務所工事課 (静岡県)	(二)堀留川の改修	長
	中央土木整備事務所	排水路の改修	中
1-2 ポンプ施設等排水機能の強化	中央土木整備事務所、 河川課	西部排水機場運用見直し 緊急内水ポンプの設置	短 短
	中央土木整備事務所	西部排水機場の更新	完
1-3 逆流防止施設の整備	中央土木整備事務所	樋門統廃合	中
1-4 水路や道路側溝の維持管理	中央土木整備事務所	浚渫・除草等	継
2. 水を「ためる」			
2-1 校庭貯留施設の整備	河川課、教育施設課、 中央土木整備事務所	佐鳴台中	完
		佐鳴台小	完
		入野小	完
		県居小	短
2-2 雨水貯留施設の整備	河川課、 中央土木整備事務所	地下貯留施設の設置検討	中
2-3 下水道施設の整備	下水道工事課	雨水貯留施設の設置検討	中

短

**緊急内水ポンプの設置
(中央土木整備事務所、河川課)**

浸水が常襲するエリアでは、堀留川との合流点付近にポンプ（小規模）を緊急的に設置し、堀留川の水位を確認しながら、強制排水します
※設置箇所は河川管理者と調整していきます。

中

**雨水貯留施設の整備検討
(中央土木整備事務所、河川課)**

学校・公園等公共施設の地下において、川の水を一時的に貯める施設整備を検討していきます。

中

**下水道施設の整備
(下水道工事課)**

豪雨の際、一時的に雨水を貯留する施設を整備します。

短中

**校庭貯留の実施
(教育施設課・中央土木事務所)**

学校の校庭において雨水を貯留する施設を整備し、川に流れ込む水の量を減らします。

継

**水路や道路側溝の維持管理
(中央土木整備事務所)**

水路や道路側溝を適切に維持管理し、流下能力を正常に保ちます。

校庭貯留施設の整備 (佐鳴台中学校)
校庭貯留施設の整備 (佐鳴台小学校)
校庭貯留施設の整備 (入野小学校)
校庭貯留施設の整備 (県居小学校)
校庭貯留施設の整備 (可美小学校)

鴨江調整池 水位観測所
鴨江排水路 水位観測所
堀留運河 水位観測所
堀留水位観測所 (県)

河川改修 L=2.3km
柏原橋

ポンプ施設等排水機能の強化 (西部排水機場運用見直し)

長

堀留川の改修 (県)

- 今後、新川合流点から上流2.3km（蛭塚排水路）までの区間において、水門の新設や引堤・築堤等を行い、河川の流下能力を高めます。
- 今後10年間で柏原橋までの改修を目標に進めます。

ポンプ施設等排水機能の強化 (西部排水機場運用見直し)

- ：エリア界
- ：河川・排水路
- Ⓟ：雨水ポンプ場
- ：浸水実績 (令和元年7月豪雨)
- ：主要道路
- ：鉄道
- △：水位観測所

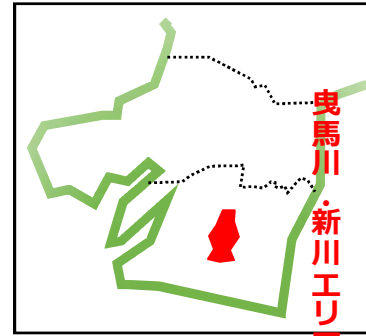
- ：対策実施箇所
- ：整備済み箇所
- ：詳細検討中

⑤ 曳馬川・新川エリア 浸水対策計画

エリアの現状 (エリア面積: 10.98km²)

【地理・地形、人口・資産の現状】

- 中央区 (旧中区) の中心部に位置し、北から南へ準用河川曳馬川、新川、新川浄化水路が流れ、二級河川馬込川へ合流している。
- 国道152号付近を境に東側は低平地が広がっている。
- 商業・業務、行政施設などの都市機能や住宅が立ち並び、人口・資産が集中している。
- **主要な交通網**として、緊急輸送路に指定されている**国道152号**や**国道257号**、中心部と郊外を繋ぐ県道や都市計画道路が多く、また、**JR東海道本線**や**東海道新幹線**、**遠州鉄道**が通っており、拠点となる駅が多く立地している。



【排水施設の整備状況】

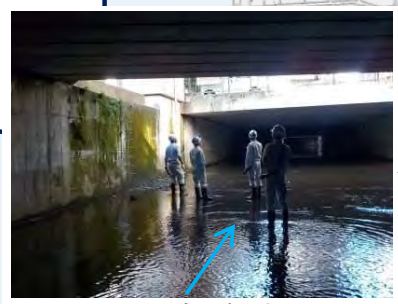
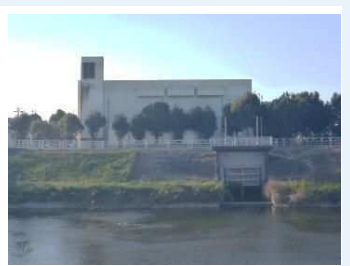
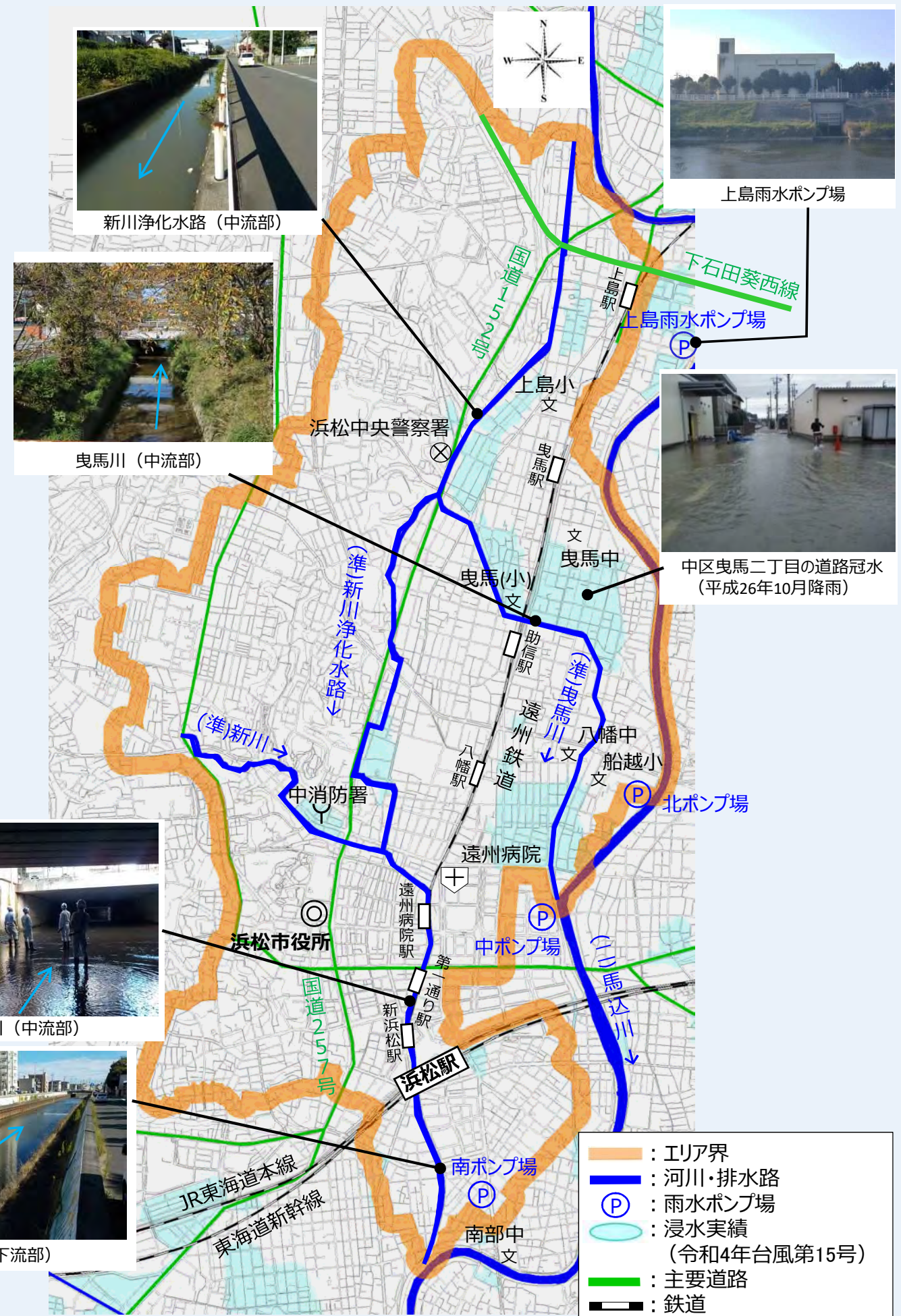
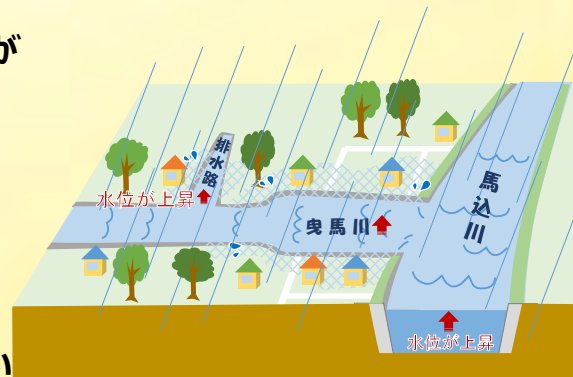
- 雨水を排水する**公共下水道を整備**し、中部浄化センターや上島雨水ポンプ場等により馬込川へ排水している。
- **上島地区**では都市計画道路の整備に合わせ、**公共下水道雨水きよ**を一部整備している。
- 排水路は、農業用排水路として整備された水路も多く、**用水を利用するための用排水路も残っている**。

【浸水被害】

- 平成16年9月豪雨では床上浸水5戸、床下浸水87戸の浸水被害が発生した。
- 平成27年9月7日台風第18号の豪雨では、曳馬川に接続する排水路沿いで道路冠水等の浸水被害が発生した。
- 令和元年7月22日豪雨では床上浸水7戸、床下浸水4戸の家屋浸水被害が発生した。
- **令和4年9月23日台風第15号では床上浸水13戸、床下浸水29戸の家屋浸水被害が発生した。**
- 令和5年6月2日台風第2号でも床上浸水1戸、床下浸水3戸の家屋浸水被害が発生しており、浸水被害が多発している。

浸水原因

- 馬込川は降雨時に水位が上昇しやすく、下がりにくい。
- 馬込川に**接続する準用河川や排水路は、馬込川の水位が上昇すると自然排水が難しくなる。**
- **排水路は、農業用排水路として整備した施設が多く、排水能力が不足している。**
- 大雨時に雨水が台地から急激に流入し、河川の排水能力を一時的に超えて浸水する場合がある。
- エリア内は**ほぼ宅地化**されているため、**雨水の流出量が多い**



<対策目標> 令和元年7月豪雨と同等規模の降雨に対し、「床上浸水の概ね解消」を目指す

<曳馬川・新川エリアの対策>

- 対策実施は、関係部局が情報を共有し、連携して進めます
- 着手可能な対策を実施し、治水安全度の早期向上を図ります
- リスク情報を積極的に発信し、より多くの市民の方々が利用できるよう努めます

区分・対策メニュー	担当課	対策概要	対策期間
1. 水を「ながす」			
1-1 河川・排水路の整備	浜松土木事務所工事課 (静岡県)	(二)馬込川の改修	長
	中央土木整備事務所、河川課	(普)上島17号排水路の改修 (普)城北2号排水路の改修	中短
1-2 ポンプ施設等排水機能の強化	中央土木整備事務所、河川課	緊急内水ポンプの設置	短
1-3 逆流防止施設の整備	中央土木整備事務所	(準)曳馬川	中
1-4 下水道施設の整備	下水道工事課	下水道施設の整備	中
1-5 浸透・透水性施設の整備	下水道工事課	浸透井の清掃	継
1-6 水路や道路側溝の維持管理	中央土木整備事務所 農地整備課	浚渫・除草等	継
1-7 馬込川の維持管理	浜松土木事務所工事課 (静岡県)	浚渫・除草等	継
2. 水を「ためる」			
2-1 校庭貯留施設の整備	河川課、教育施設課、中央土木整備事務所	曳馬小	完
		曳馬中	短
		上島小	短
		高台中	短
		八幡中	中
		城北小	中
		双葉小	中
		西小	中
2-2 公園貯留施設の整備	公園管理事務所	豊隆公園	短
2-3 雨水貯留施設の整備	河川課、中央土木整備事務所	雨水貯留施設検討	中



中

下水道施設の整備 (下水道工事課)

豪雨時の下水道管の状況を調査し、下水道管の能力を活用できるように整備します。

継

水路や道路側溝の維持管理 (中央土木整備事務所)

水路や道路側溝の適切な維持管理をして、流下能力を正常に保ちます。

中

逆流防止施設の整備事例 (安間川)

逆流防止施設設置 (中央土木整備事務所)

逆流防止施設を設置し、曳馬川からの逆流を防ぐことで浸水被害の軽減を図ります。

校庭等貯留施設の整備 (曳馬中学校)

校庭等貯留施設の整備 (曳馬小学校)

校庭等貯留施設の整備 (八幡中学校)

雨水貯留施設の整備検討

継

浸透井の清掃 (下水道工事課)

エリアに設置している浸透施設の清掃を実施することで、豪雨時に効果を発揮させます。

中

雨水貯留施設の整備検討 (中央土木整備事務所、河川課)

公共施設の地下において雨水を貯留する施設を整備し、川に流れ込む水の量を減らします。

短中

校庭貯留の実施 (教育施設課)

学校の校庭において雨水を貯留する施設を整備し、川に流れ込む水の量を減らします。

⑥ 九領川エリア 浸水対策計画

エリアの現状 (エリア面積 : 5.8km²)

【地理・地形、人口・資産の現状】

- 中央区 (旧西区) に位置し、エリア中央を二級河川九領川が北から南へ流れ、二級河川新川へ合流している。
- 九領川中下流域は低平地が多く、築堤河川となっており、堤防が決壊する危険性を有している。
- 九領川下流域は土地区画整理事業により整備した市街地が広がり、住宅や大規模商業施設が連担している。
- 九領川中上流域は、九領川沿いに農地が広がっているが、中流部の東側には浜松技術工業団地が立地している。
- 主要な交通網として、緊急輸送路に指定されている浜松環状線や浜松雄踏線が通っている。

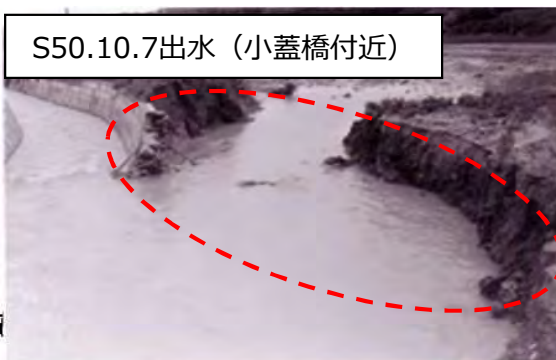


【排水施設の整備状況】

- 九領川の河川改修は、新川合流点から乗越橋付近までの区間が完了している。
- 主要な排水路として、郷堂川 (大久保町121号排水路) が流れており、九領川へ排水している。

【浸水被害】

- 昭和50年10月の降雨では、小蓋橋付近右岸で堤防が破堤し、床上浸水80戸、床下浸水46戸の大きな被害が発生した。
- 平成6年9月の降雨では床上浸水1戸、床下浸水5戸の被害が発生した。
- 令和4年7月26日豪雨では内外水氾濫が発生し、床上浸水7戸、床下浸水6戸の家屋浸水被害が発生した。
- 令和4年9月23日台風第18号でも外水氾濫が発生し、床上浸水3戸の家屋浸水被害が発生した。
- 令和4年7月26日豪雨と令和5年6月2日台風第2号では、上流域のくぼ地で浸水が発生している。



浸水原因

- 九領川の未改修区間は、大雨時に水位が上昇しやすい。
- 潮位の影響を受けやすく、満潮時に九領川から新川への自然排水に影響することがある。
- 九領川に接続する排水路は、九領川の水位が上昇すると自然排水が困難となる。
- 上流部の普通河川区間ではくぼ地等の地形的要因で浸水が発生している。



<対策目標> 令和4年7月豪雨と同等規模の降雨に対し、「床上浸水の概ね解消」を目指す

<九領川エリアの対策>

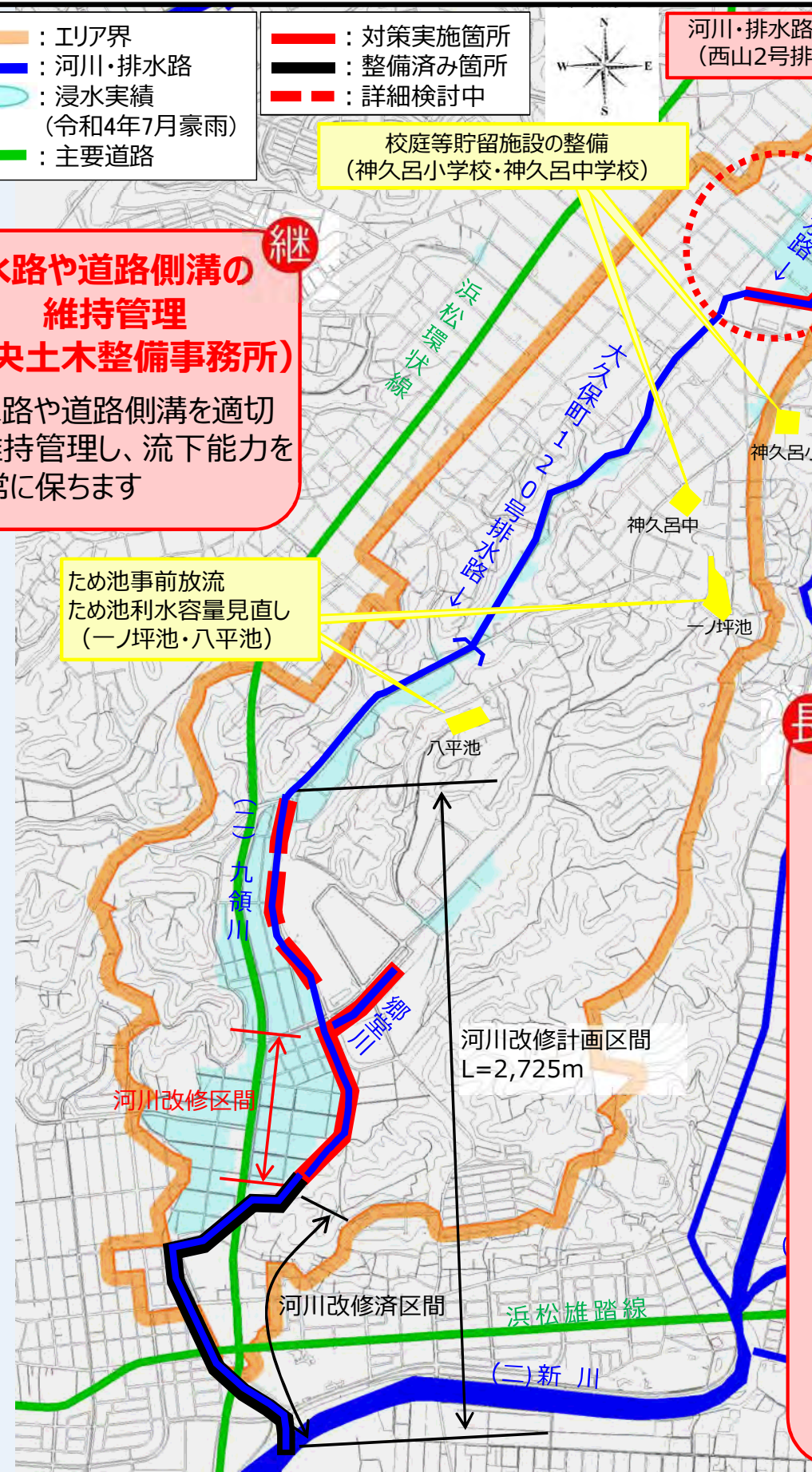
- 対策実施は、関係部局が情報を共有し、連携して進めます
- 着手可能な対策を実施し、治水安全度の早期向上を図ります
- リスク情報を積極的に発信し、より多くの市民の方々が利用できるよう努めます

区分・対策メニュー	担当課	対策概要	対策期間
1. 水を「ながす」			
1-1 河川・排水路の整備	中央土木整備事務所、河川課	(二)九領川の改修	長
	中央土木整備事務所	(普)郷堂川の改修	中
		(普)西山2号排水路の改修	中
1-2 水路や道路側溝の維持管理	中央土木整備事務所	浚渫・除草等	継
2. 水を「ためる」			
2-1 校庭貯留施設の整備	河川課、教育施設課、中央土木整備事務所	神久呂小 神久呂中	短
2-2 ため池等の保全	農地整備課 中央土木整備事務所	ため池事前放流	短
		ため池利水容量見直し	短
2-3 水田貯留(田んぼダム)可能性検証	農地整備課	田んぼダム取組推進	短
2-4 農地の保全	農地整備課	農地保全のための地域の共同活動支援	継

- オレンジ線: エリア界
- 青線: 河川・排水路
- 水色線: 浸水実績 (令和4年7月豪雨)
- 緑線: 主要道路
- 赤線: 対策実施箇所
- 黒線: 整備済み箇所
- 赤点線: 詳細検討中

水路や道路側溝の維持管理 (中央土木整備事務所)
 水路や道路側溝を適切に維持管理し、流下能力を正常に保ちます

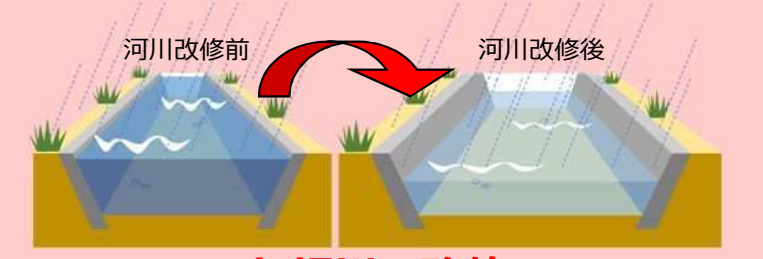
ため池事前放流
 ため池利水容量見直し
 (一ノ坪池・八平池)



参考: 安間川遊水地
西山2号排水路の改修 (中央土木整備事務所)
 西山2号排水路の改修及び遊水地を整備し、治水安全度を高めます。



郷堂川の改修 (中央土木整備事務所)
 河幅の拡幅(引堤・護岸の築造)を行い、流下能力を高めます。



九領川の改修 (中央土木整備事務所、河川課)
 河幅の拡幅(引堤・護岸の築造)を行い、流下能力を高めます。郷堂川合流点までの改修を優先的に実施します。

田んぼダムの取組推進 (農地整備課)

水田雨水貯留機能を活かす「田んぼダム」の普及のため、田んぼダムの実施可能性検討し、候補地があれば地元農業者との調整を行います。

雨水貯留に必要な十分な高さの畦畔

排水溝と流出量調整板

校庭貯留の実施 (教育施設課、河川課、中央土木整備事務所)

学校の校庭において雨水を貯留する施設を整備し、川に流れ込む水の量を減らします。

⑦ 安間川中流エリア・⑬ 安間川上流支川エリア ・⑭ 松小池川エリア 浸水対策計画

エリアの現状 (エリア面積: 15.56km²)

【地理・地形、人口・資産の状況】

- 中央区 (旧東区) に位置し、エリアの中央を北から南へ一級河川安間川が流れている。
- エリアの地形は天竜川の洪水が運んだ土砂で形つられていて、**氾濫平野(低平地)**が広がっており、**ところどころに微高地や窪地**がある。
- 東名高速道路より南側のエリアでは、住宅が連担しているが、農地も多い地域である。
- **主要な交通網**として、**浜松環状線**や**笠井街道** (天竜浜松線) が通っている。



【排水施設の整備状況】

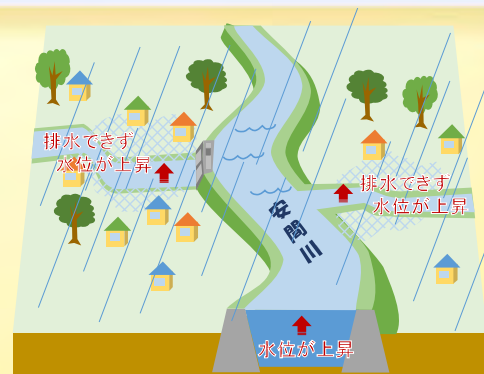
- **平成25年9月**、河川事業と下水道事業が連携して浸水対策に取り組む「**100mm/h安心プラン**」に登録された。
- **静岡県**により**遊水地の整備が完了し、安間川の改修が進められている**。
- 市は雨水を排水する**公共下水道雨水きよ及び雨水ポンプ場 (市野・天王)**の整備を実施した。

【浸水被害】

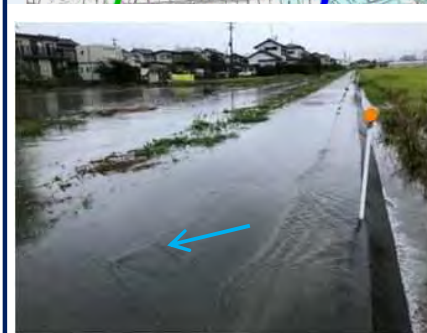
- 昭和50年10月の降雨では、床上浸水25戸、床下浸水756戸の既往最大規模の浸水被害が発生した。
- 平成27年9月7日台風第18号の降雨では、床上浸水5戸、床下浸水20戸の浸水被害が発生したほか、広範囲に道路冠水等による交通障害が発生した。
- 近年、万斛橋の上流部 (笠井新田町、笠井上町付近) では、**安間川から溢れた洪水による道路冠水等が発生している**。
- **令和4年9月台風第15号豪雨**では広範囲で浸水し、床上浸水87戸、床下浸水275戸の家屋浸水被害が発生した。
- 令和5年6月2日台風第2号でも内水氾濫により床上浸水2戸、床下浸水3戸の家屋浸水被害が発生した。

浸水原因

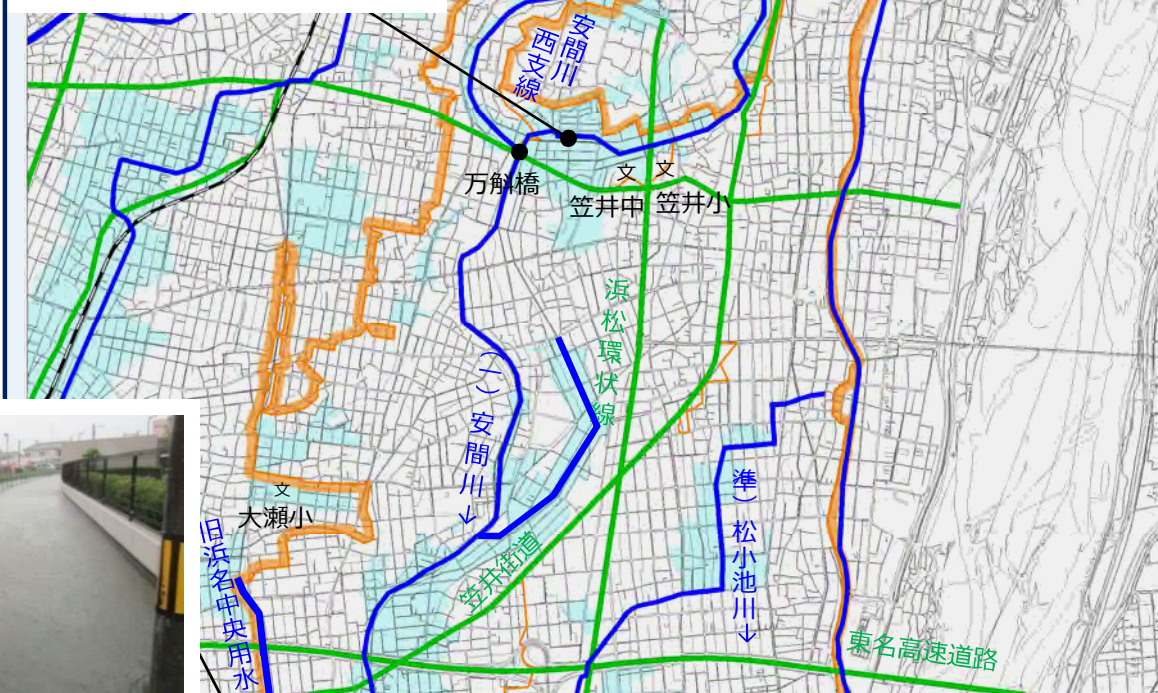
- 安間川は、降雨時に**水位が上昇しやすい**。
- 安間川に**接続する排水路等は、安間川の水位が上昇すると自然排水が難しくなる**。
- 排水路は、**農業用排水路として整備された施設が多く、排水能力が不足している**。
- エリア内は勾配が緩く、水が流れにくい地形であり、また、安間川の堤防よりも**土地が低く、水が溜まりやすい**。
- 近年、**農地の宅地化**により、エリア内の保水能力が低下し、**雨水の流出量が増加している**。



— : エリア界
— : 河川・排水路
P : 雨水ポンプ場
○ : 浸水実績 (令和4年台風第15号)
— : 主要道路
— : 鉄道



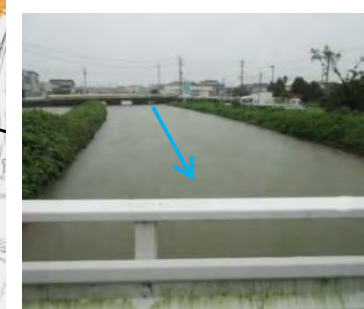
安間川からの溢水(万斛橋上流部) (平成27年9月降雨)



既存排水路からの溢水(中央区天王町) (平成27年9月降雨)



道路冠水(中央区天王町) (平成27年9月降雨)



増水時の安間川 (平成27年9月降雨)

<対策目標> 平成27年9月豪雨と同等規模の降雨に対し、「床上浸水の概ね解消」を目指す

<安間川中流エリアの対策>

- 対策実施は、関係部局が情報を共有し、連携して進めます
- 着手可能な対策を実施し、治水安全度の早期向上を図ります
- リスク情報を積極的に情報発信し、より多くの市民の方々が利用できるよう努めます

区分・対策メニュー	担当課	対策概要	対策期間
1. 水を「ながす」			
1-1 河川・排水路の整備	浜松土木事務所工事課 (静岡県)	(一)安間川の改修	長
	中央土木整備事務所、河川課	(準)安間川西支線の改修	長
		(準)松小池川の改修検討	長
	中央土木整備事務所	(普)宮川排水路	長
		(普)下石田14号排水路	中
1-2 ポンプ施設等排水機能の強化	中央土木整備事務所、河川課	緊急内水ポンプの設置	短
1-3 逆流防止施設の整備	中央土木整備事務所	(普)北島7号排水路 (普)市野町12号排水路	短
1-4 下水道施設の整備	下水道工事課	雨水ポンプ場の整備	完
		雨水きよの整備	完
		下水道施設の整備検討	長
1-5 水路や道路側溝の維持管理	中央・浜名土木土木整備事務所	浚渫・除草等	継
2. 水を「ためる」			
2-1 校庭貯留施設の整備	河川課、教育施設課、中央・浜名土木整備事務所	与進小	短
		与進中	中
		笠井小	完
		笠井中	完
		北浜小	中
2-2 公園貯留施設の整備	公園管理事務所	安間川公園	中
2-3 水田貯留(田んぼダム)可能性検証	農地整備課	田んぼダムの取組推進	中
2-4 雨水貯留施設の整備	河川課、中央土木整備事務所	雨水貯留施設の整備検討	長
2-5 農地の保全	農地整備課	農地保全のための地域の共同活動支援	継

中

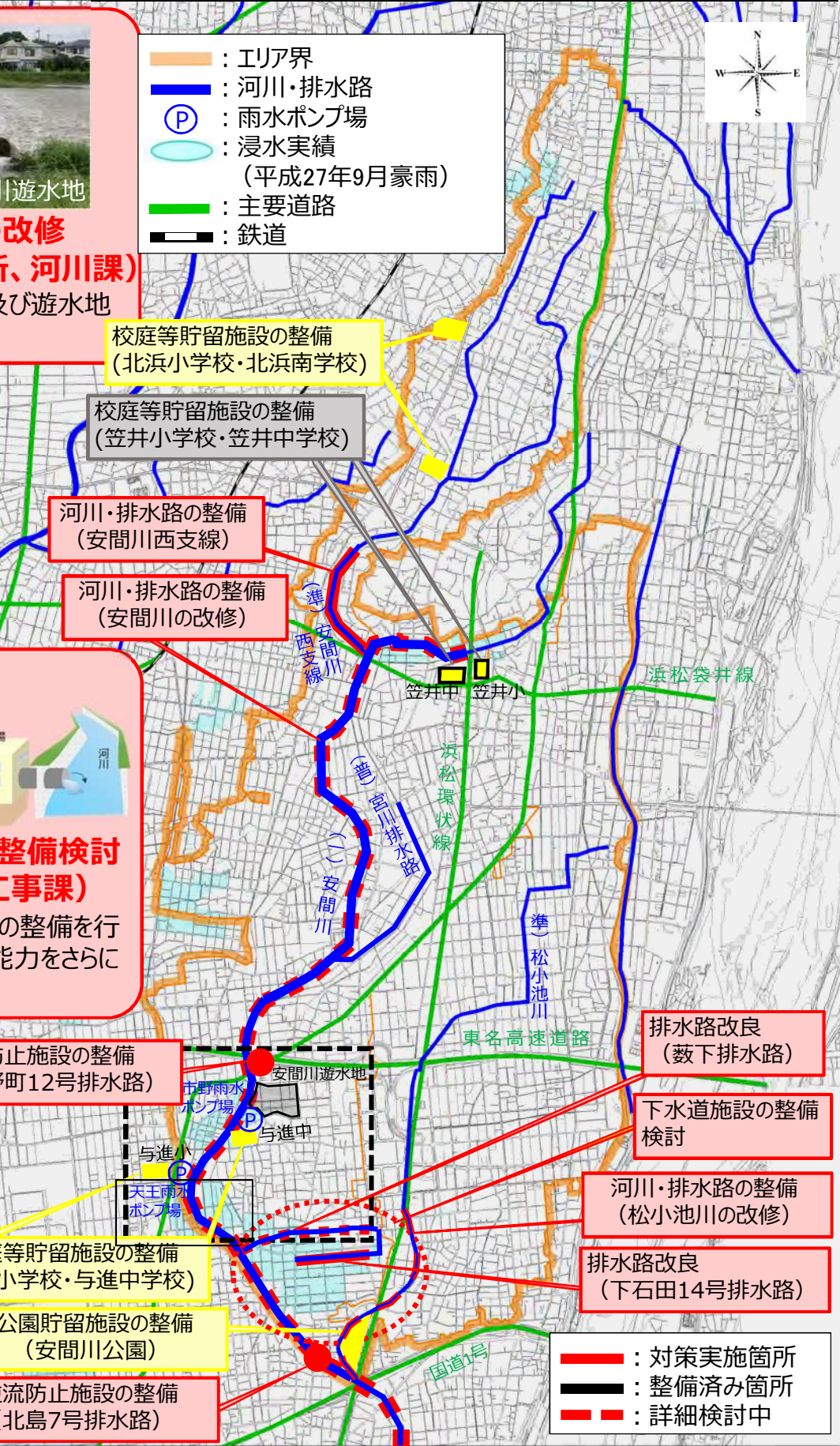
河川改修前 → 河川改修後

下石田14号排水路の改修 (中央土木整備事務所)
河幅の拡幅(引堤・護岸の築造)を行い、流下能力を高めます。

長

参考：安間川遊水地

安間川西支線の改修 (中央土木整備事務所、河川課)
安間川西支線の改修及び遊水地を整備します。



中

田んぼダム

雨水貯留に必要な十分な高さの畦畔

排水路と流出量調整板

田んぼダムの取組推進 (農地整備課)
水田雨水貯留機能を活かす「田んぼダム」の実施可能性検討及び地元農業者との調整を行います。

短

樋門の逆流防止対策

樋門(自動)

樋門(手動)

逆流防止施設設置 (中央土木整備事務所)
安間川からの逆流を防ぐことで浸水被害の軽減を図ります。

短中

校庭貯留の実施 (教育施設課・中央土木整備事務所)
学校の校庭に雨水を貯留する施設を整備し、排水路に流れ込む水の量を減らします。

完

市野雨水ポンプ場

雨水ポンプ場の整備 (下水道工事課)
雨水を強制排水する雨水ポンプ場を整備しました。(市野雨水ポンプ場、天王雨水ポンプ場)

長

ポンプ場

河川

下水道施設整備検討 (下水道工事課)
下水道施設の整備を行い、雨水処理能力をさらに高めます。

⑧芳川第二エリア・⑫東芳川エリア 浸水対策計画

エリアの現状 (エリア面積: 4.85km²)

【地理・地形、人口・資産の現状】

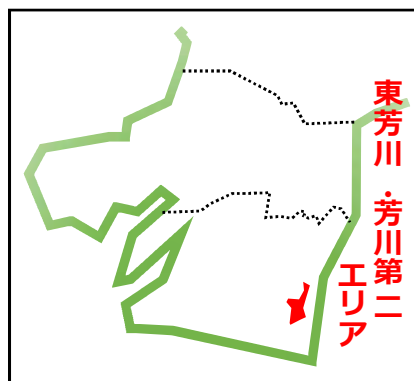
- 中央区 (旧南区と旧東区) に跨り、北から南へ準用河川東芳川が流れ、二級河川芳川へ合流している。
- エリア内の地形勾配は緩く、平坦な地形となっている。
- 農地が多い地域であるが、国道や芳川、東芳川の沿川では住宅が連担している。
- 芳川と東芳川の合流点付近や飯田排水路沿いには、避難所に指定されている小中学校がある。
- 主要な交通網として国道1号や国道150号が通っている。

【排水施設の整備状況】

- 東芳川は、現在の芳川が整備される以前の旧河道である。
- 東芳川の河川改修は、芳川合流点～下飯田橋の区間と、上流の一部区間で実施している。
- 東芳川の主要な支川として、飯田排水路を整備している。
- 過去に整備した農業用排水路が、エリアの主要な排水路となっているが、用排水路となっている水路もある。

【浸水被害】

- 平成26年10月の降雨では、東芳川からの越水により、南陽中学校や周辺道路の冠水等、浸水被害が発生した。
- 平成27年9月7日台風第18号の降雨では、東芳川下流域および国道150号付近や石原4号排水路沿いで浸水被害が発生した。
- 令和元年7月22日豪雨では東芳川で外水氾濫、エリア一体で内水氾濫が発生し、床上浸水1戸、床下浸水7戸の浸水被害が発生した。
- 令和4年9月23日台風第15号では床上浸水16戸、床下浸水26戸の家屋浸水被害が発生した。



— : エリア界
— : 河川・排水路
○ : 浸水実績 (令和4年台風第15号)
— : 主要道路
 : 鉄道

和文小
 天竜中
 飯田排水路の様子
 東芳川の様子 (上流部)
 東海道本線
 天竜川駅
 東海道新幹線
 飯田小
 文
 東部中
 下飯田橋
 芳川北小
 文
 南陽中
 文
 芳川小
 文
 石原4号排水路
 国道150号
 国道150号芳川交番付近の道路冠水 (平成27年9月)

浸水原因

- 芳川は、降雨時に水位が上昇しやすい。
- 芳川に接続する東芳川や排水路は、芳川の水位が上昇すると自然排水が難しくなる。
- 東芳川の未整備区間では、流下能力が不足している。
- 排水路は、農業用排水路として整備された施設が多く、排水能力が不足している。
- 用排水路では、降雨時にも用水が貯められていると、雨水を適切に排水できない場合がある。
- 飯田排水路の上流域や国道150号の沿線は、地形的に一部窪地になっており、水が溜まりやすくなっている。



<対策目標> 令和元年7月豪雨と同等規模の降雨に対し、「床上浸水の概ね解消」を目指す

<東芳川エリア・芳川第二エリアの対策>

- 対策実施は、関係部局が情報を共有し、連携して進めます
- 着手可能な対策を実施し、治水安全度の早期向上を図ります
- リスク情報は積極的に発信し、より多くの市民の方々が利用できるよう努めます

区分・対策メニュー	担当課	対策概要	対策期間
1. 水を「ながす」			
1-1 河川・排水路の整備	浜松土木事務所工事課 (静岡県)	(二) 芳川の改修	長
	中央土木整備事務所、 河川課	(準) 東芳川の改修	中
	中央土木整備事務所	(普) 飯田24号排水路の改修 (普) 本郷1号排水路の改修	短 短
1-2 ポンプ施設等排水機能の強化	中央土木整備事務所、 河川課	緊急内水ポンプの設置	短
1-3 逆流防止施設の整備	中央土木整備事務所	フラップゲートの設置	短
1-4 水路や道路側溝の維持管理	中央土木整備事務所	浚渫・除草等	継
2. 水を「ためる」			
2-1 校庭貯留施設の整備	教育施設課、河川課、 中央土木整備事務所	芳川小	完
		飯田小	短
		芳川北小	中
		南陽中	中
2-2 公園貯留施設の整備	公園管理事務所	東部中	中
		芳川公園	短
		大蒲公園	短
2-3 雨水貯留施設の整備	中央土木整備事務所	芳川公園(地下)	短
2-4 農地の保全	農地整備課	農地保全のための 地域の共同活動支援	継



短中

校庭貯留の実施 (教育施設課、河川課、中央土木整備事務所)
学校の校庭において雨水を貯留する施設を整備し、川に流れ込む水の量を減らします。

中

東芳川の改修 (中央土木整備事務所、河川課)
河幅の拡幅(引堤・護岸の築造)を行い、流下能力を高めます。

短

樋門の逆流防止対策

樋門(自動)
樋門(手動)

逆流防止施設設置 (中央土木整備事務所)
逆流防止施設を設置し、芳川からの逆流を防ぐことで浸水被害の軽減を図ります。

中

雨水貯留施設の整備検討 (中央土木整備事務所)
公共施設の地下において雨水を貯留する施設を整備し、川に流れ込む水の量を減らします。

短

緊急内水ポンプの設置 (中央土木整備事務所、河川課)

内水氾濫が発生している箇所にポンプ(小規模)を緊急的に設置し、排水先河川の水位を確認し、強制排水します。

継

水路や道路側溝の維持管理 (中央土木整備事務所)
水路や道路側溝の適切な維持管理をして、流下能力を正常に保ちます。

**緊急内水ポンプの設置
フラップゲートの設置**

長

芳川の改修(県)
(二) 芳川を改修し、流下能力を高めます。

⑨ 五反田川エリア・⑮有隣川エリア 浸水対策計画

エリアの現状 (エリア面積 : 8.09km²)

【地理・地形、人口・資産の現状】

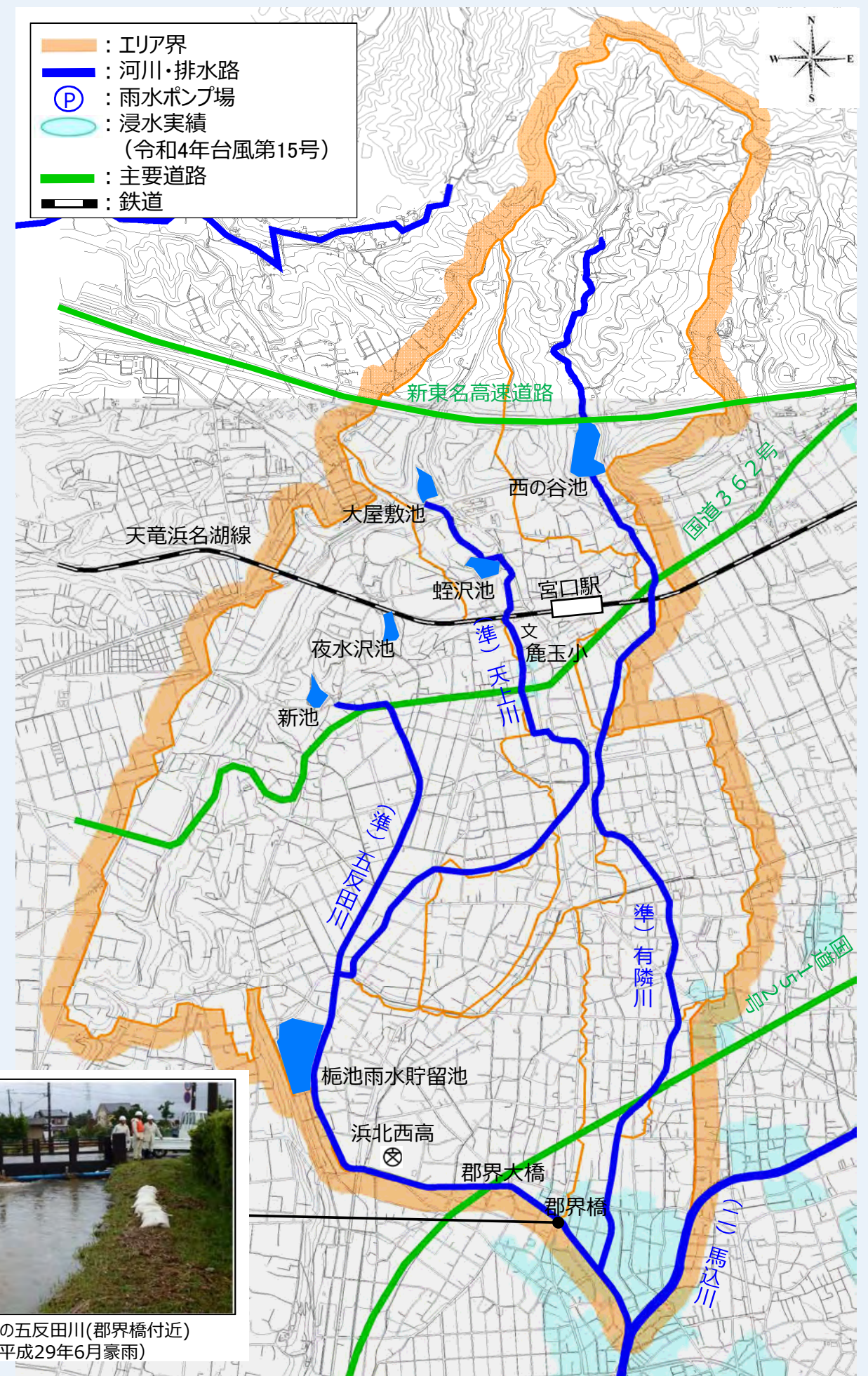
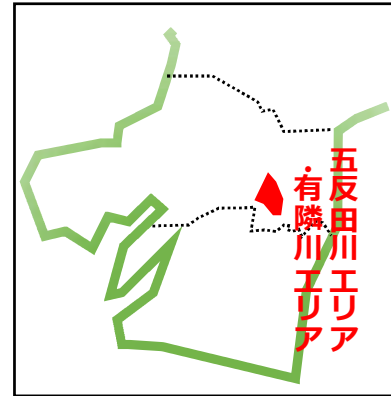
- 浜名区 (旧浜北区) に位置し、北から南へ準用河川五反田川が流れ、支川の天上川・有隣川と合流し、二級河川馬込川へ合流している。
- 五反田川は、郡界大橋より下流では、築堤区間であるため堤防が決壊する危険性を有している。
- エリア全体が市街化調整区域であり、農地の中に宅地が点在する地域となっている。
- 主要な交通網として国道152号や国道362号が通り、エリアの北側に天竜浜名湖鉄道が通っている。

【排水施設の整備状況】

- 中上流部には、雨水を一時的に貯留する「梶池雨水貯留池」を整備した。
- 五反田川は過去、農業用排水路として整備し、現在は準用河川として管理している。

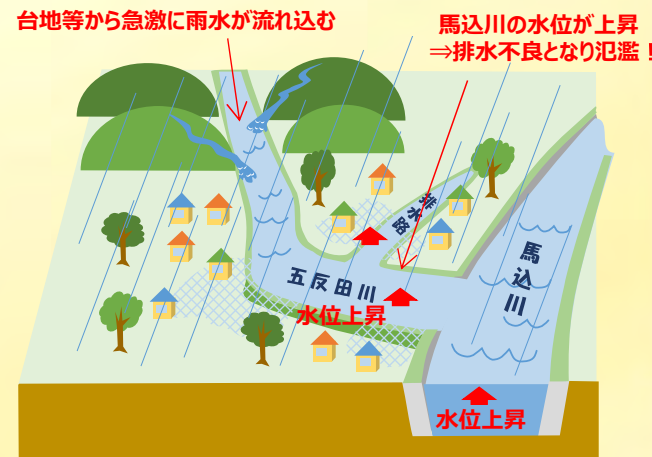
【浸水被害】

- 平成26年10月の降雨では、五反田川と馬込川合流点付近の築堤部で越水が発生した。
- 平成29年6月の降雨では、五反田川の郡界橋上流で堤防からの越水により、床下浸水1戸が発生した。
- 令和4年9月2日豪雨では、エリア内で大規模な氾濫 (水路からの溢水) が発生した。
- 令和4年9月23日台風第15号では、エリア内で大規模な氾濫 (水路からの溢水) が発生だけでなく、五反田川で堤防からの越水 (外水氾濫) が発生し、床上浸水30戸、床下浸水10戸の近年最大の浸水被害が発生した。
- 令和5年6月2日台風第2号では、新原地区で外水氾濫 (水路からの溢水) が発生し、床上浸水3戸、床下浸水11戸の浸水被害が発生した。



浸水原因

- 馬込川と五反田川は 台地等から急激に雨水が流れ込み、降雨時に水位が上昇しやすい。
- 馬込川に接続する五反田川は、馬込川の水位が上昇すると自然排水が難しくなる。
- 五反田川に接続する排水路等は、五反田川の水位が上昇すると自然排水が難しくなる。
- 五反田川の中上流域の地形は急勾配になっており、降った雨が川へ急激に流れ込みやすい地形になっている。



増水時の五反田川(郡界橋付近)
(平成29年6月豪雨)

<対策目標> 令和5年6月台風第2号と同等規模の降雨に対し、「床上浸水被害の概ね解消」を目指す

<五反田川エリアの対策>

- 対策実施は、関係部局が情報を共有し、連携して進めます
- 着手可能な対策を実施し、治水安全度の早期向上を図ります
- リスク情報は積極的に情報発信し、より多くの市民の方々が利用できるよう努めます

区分・対策メニュー	担当課	対策概要	対策期間
1. 水を「ながす」			
1-1 河川・排水路の整備	浜松土木事務所工事課 (静岡県)	(二)馬込川の改修	中
	浜名土木整備事務所	(準)有隣川の改修	長
		(準)五反田川の改修	中
		(普)宮口113号排水路の改修	中
1-2 ポンプ施設等排水機能の強化	浜名土木整備事務所、河川課	緊急内水ポンプの設置	短
1-3 逆流防止施設の整備(フラップゲート等)	浜名土木整備事務所	新原7号排水路	短
1-4 水路や道路側溝の維持管理	浜名土木整備事務所	浚渫・除草等	継
2. 水を「ためる」			
2-1 校庭貯留施設の整備	河川課、教育施設課、浜名土木整備事務所	新原小	短
		鹿玉小	中
		鹿玉中	中
2-2 ため池等の保全	浜松土木事務所工事課 (静岡県)	浜北西高校	長
		ため池事前放流	短
2-3 水田貯留(田んぼダム)可能性検証	河川課、農地整備課、浜名土木整備事務所	ため池利水容量見直し	短
2-4 雨水貯留施設の整備	農地整備課	田んぼダムの取組推進	中
		梶池雨水貯留池の改良	中
2-5 農地の保全	浜名土木整備事務所	新原地区雨水貯留施設の整備検討	中
		農地保全のための地域の共同活動支援	継

— : エリア界
— : 河川・排水路
P : 雨水ポンプ場
○ : 浸水実績 (令和5年6月台風第2号豪雨)
— : 主要道路
— : 鉄道
 : 対策実施箇所
 : 整備済み箇所
 : 詳細検討中



短中

校庭貯留の実施
(教育施設課・中央土木整備事務所)

学校の校庭に雨水を貯留する施設を整備し、川に流れ込む水の量を減らします。

短

ため池等の保全 (農地整備課)

五反田川上流に整備された、ため池の利水容量の見直しを行います。事前放流に向けた調整を実施します。

中

梶池雨水貯留池の改良
(浜名土木整備事務所)

梶池雨水貯留池を改良し、川の負荷を軽減させます。

長

有隣川の改修 (河川課)

河幅の拡幅(引堤・護岸の築造)を行い、流下能力を高めます。

短

逆流防止施設設置
(浜名土木整備事務所)

馬込川からの逆流を防ぐことで浸水被害の軽減を図ります。

継

水路や道路側溝の維持管理
(浜名土木整備事務所)

水路や道路側溝を適切に維持管理し、流下能力を正常に保ちます。

短

緊急内水ポンプの設置 (河川課)

内水氾濫が発生している箇所にポンプ(小規模)を緊急的に設置し、排水先河川の水位を確認し、強制排水します。

短

校庭貯留施設の整備
(新原小学校)

河川・排水路の整備
(宮口113号排水路)

⑩ 寺脇西エリア 浸水対策計画

エリアの現状 (エリア面積3.34km²)

【地理・地形、人口・資産の現状】

- 中央区 (旧南区) の沿岸部に位置し、二級河川馬込川と芳川に挟まれた低い土地が広がっており、なかでも周囲より相対的に低い土地に水が集まり易い地形となっている。
- エリア北部はほぼ宅地化しており、南部では優良農地が残るが、宅地化が進行している。

【排水施設の整備状況】

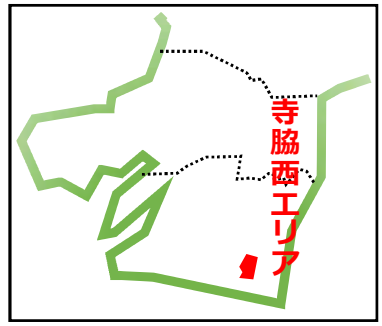
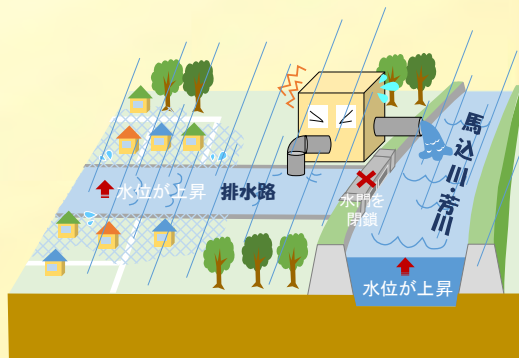
- エリア内は農業目的の排水機場及び用排水路が面的に整備をしている。
- エリア東側には雨水対策として三島都市下水路を整備している。
- 馬込川・芳川への排水は、河川水位が高く自然排水が出来ない場合、排水機場からポンプにより強制的に排水している。

【浸水被害】

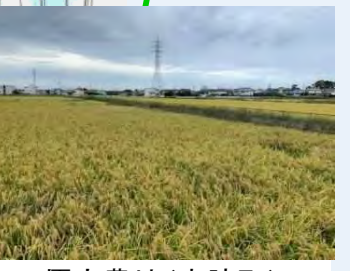
- 昭和52年豪雨では広く農地が湛水し、農業被害が多く発生した。
- 令和元年7月22日豪雨では、浸水により床上浸水2戸、床下浸水6戸の浸水被害が発生した。
- 令和4年9月23日台風第15号では、内水氾濫により床上浸水10戸、床下浸水16戸の浸水被害が発生した。

浸水原因

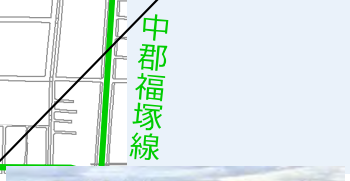
- エリア内の標高が低く、低平地のため降った雨が流れにくい状況にある。
- 潮位の影響を受けやすく、満潮時には排水路から馬込川・芳川への自然排水に影響することがある。
- 農業目的で整備された排水施設は、水田にある程度水が溜まることを許容した能力で施設整備がされている。
- 寺脇排水機場・中田島排水機場では、近年の突発的な集中豪雨に対する対応が困難になってきている可能性がある。
- 用排水路では、降雨時にも用水が貯められていると雨水を適切に排水できない場合がある。
- 排水路が合流する箇所では、水がうまく合流することができず、一方の水路側に溜まっている可能性がある。
- 近年、農地の宅地化により、エリア内の保水能力が低下し、雨水の流出量が増加している。



かんがい期の用排水路



優良農地(寺脇町)



中郡福塚線



寺脇川(寺脇31号排水路)



寺脇排水機場



赤口排水路



中田島排水機場

<対策目標> 令和元年7月豪雨と同等規模の降雨に対し、「床上浸水の概ね解消」を目指す。

<寺脇西エリアの対策>

- 対策実施は、関係部局が情報を共有し、連携して進めます
- 着手可能な対策を実施し、治水安全度の早期向上を図ります
- リスク情報は積極的に発信し、より多くの市民の方々が利用できるよう努めます

区分・対策メニュー	担当課	対策概要	対策期間
1. 水を「ながす」			
1-1 河川・排水路の整備	浜松土木事務所工事課 (静岡県)	(二)馬込川の改修	長
	中央土木整備事務所	(普)赤口排水路の改修	中
		(普)三島1号排水路の改修	短
1-2 ポンプ施設等排水機能の強化	中央土木整備事務所、 河川課	(普)茄子川の改修	中
		緊急内水ポンプの設置	短
	農地整備課	排水機場の 遠隔システムの導入	短
1-3 逆流防止施設の整備	農地整備課	フラップゲートの設置	短
1-4 水路や道路側溝の維持管理	中央土木整備事務所	浚渫・除草等	継
2. 水を「ためる」			
2-1 校庭貯留施設の整備	教育施設課	白脇小	短
2-2 公園貯留施設の整備	公園管理事務所	船越公園	中
2-3 農地の保全	農地整備課	水源転換等対策 農地保全のための 地域の共同活動支援	継

短



校庭貯留の実施（教育施設課）

学校の校庭に雨水貯留施設を整備し、川に流れ込む水の量を減らします。

中



公園貯留の実施（公園管理事務所）

公園に雨水を貯留する施設を整備し、川に流れ込む水の量を減らします。

中長

農地の保全（農地整備課）

多面的機能交付団体が行う地域の共同活動を支援し、農地の保全を行うことで、農地が持つ多面的機能を十分生かします。

中



河川改修前

河川改修後

赤口排水路の改修（河川課）

排水路幅の拡幅を行い、流下能力を高めます。

継



水路や道路側溝の維持管理（中央土木整備事務所）

水路や道路側溝の適切な維持管理をして、流下能力を正常に保ちます。

短



樋門の逆流防止対策

樋門（自動）

樋門（手動）

逆流防止施設設置（農地整備課）

逆流防止施設を設置し、高塚川からの逆流を防ぐことで浸水被害の軽減を図ります。

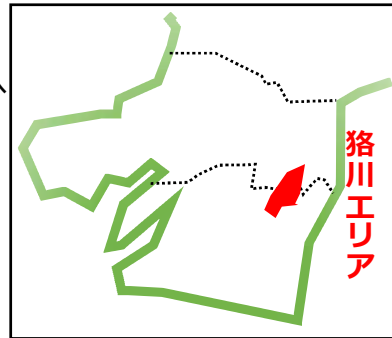


⑪ 猪川エリア 浸水対策計画

エリアの現状 (エリア面積 : 9.15km²)

【地理・地形、人口・資産の現状】

- 中央区 (旧東区) と浜名区 (旧浜北区) にまたがり、エリアの中央を北から南へ準用河川猪川が流れ、二級河川馬込川へ合流している。
- 遠州鉄道のさぎの宮駅付近は局所的に地盤が低く、窪地地形となっている。
- 農地が多い地域であるが、国道152号線沿いに商業施設が立ち並び、**エリアの宅地化も進展している。**
- **主要な交通網**として国道152号や二俣街道(有玉南積志線)、また遠州鉄道が通っており、駅も複数立地している。



【排水施設の整備状況】

- 猪川は過去、農業用排水路として整備し、現在は準用河川として管理している。
- 猪川中流部(積志町~西ヶ崎町付近)は、静岡県農地部局により排水改良工事を行われている。
- **主要な排水路**として、西ヶ崎25号排水路・大瀬21号排水路がある。
- 過去に整備された農業用排水路が、主要な排水路になっているが、**用排水路となっている水路もある。**

【浸水被害】

- 平成27年9月7日台風第18号では、「さぎの宮駅」周辺で、内水氾濫による道路冠水が発生し、駅利用者に影響が生じたほか、小池町や大瀬町でも道路通行止め等の交通障害が発生した。
- **令和4年9月23日台風第15号では、全川的に内外水氾濫が発生し、床上浸水108戸、床下浸水572戸の甚大な浸水被害が発生した。**
- 令和5年6月2日台風第2号による豪雨でも馬込川合流点付近及びさぎの宮駅付近、大瀬町付近で内水氾濫による浸水が発生し、さぎの宮駅付近では浸水被害が発生し、床上浸水2戸、床下浸水111戸の浸水被害が発生した。

浸水原因

- 馬込川や猪川は、降雨時に水位が上昇しやすい。
- 猪川に接続する排水路は、猪川の水位が上昇すると自然排水が難しい。
- さぎの宮駅付近は地形的に窪地になっており、水が溜まりやすい。
- 用排水路では、降雨時にも用水が貯められていると雨水を適切に排水できない場合がある。
- 近年、**宅地化の進展**により、エリア内の保水力が低下し、**雨水の流出量が増加している。**



<対策目標> 令和5年6月豪雨と同等規模の降雨に対し、「床上浸水の概ね解消」を目指す

<猪川エリアの対策>

- 対策実施は、関係部局が情報を共有し、連携して進めます
- 着手可能な対策を実施し、治水安全度の早期向上を図ります
- リスク情報は積極的に発信し、より多くの市民の方々が利用できるよう努めます

区分・対策メニュー	担当課	対策概要	対策期間
1. 水を「ながす」			
1-1 河川・排水路の整備	中央土木整備事務所	(準)猪川の改修	長
		(普)西ヶ崎25号排水路の改修	中
		(普)大瀬21号排水路の改修	短
		(普)有玉32号排水路の改修	短
		(普)中郡町6号排水路の改修	短
1-2 ポンプ施設等排水機能の強化	中央土木整備事務所、河川課	緊急内水ポンプの設置	短
1-3 逆流防止施設の整備	中央土木整備事務所	小池15号排水路	短
1-4 下水道施設の整備	下水道工事課	下水道施設の整備検討	長
1-5 水路や道路側溝の維持管理	中央・浜名土木整備事務所	浚渫・除草等	継
1-6 馬込川の維持管理	浜松土木事務所工事課(静岡県)	浚渫・除草等	継
2. 水を「ためる」			
2-1 校庭貯留施設の整備	教育施設課、中央土木整備事務所	中郡小	短
		中郡中	完
		積志中	短
		有玉小	完
		大瀬小	短
2-2 農地の保全	農地整備課	農地保全のための地域の共同活動支援	継

短 緊急内水ポンプの設置 (中央土木整備事務所、河川課)

猪川との合流点付近にポンプ(小規模)を緊急的に設置し、猪川の水位を確認しながら、強制排水します。

短 校庭貯留の実施 (教育施設課、中央土木整備事務所)

学校の校庭に雨水貯留施設を整備し、川に流れ込む水の量を減らします。

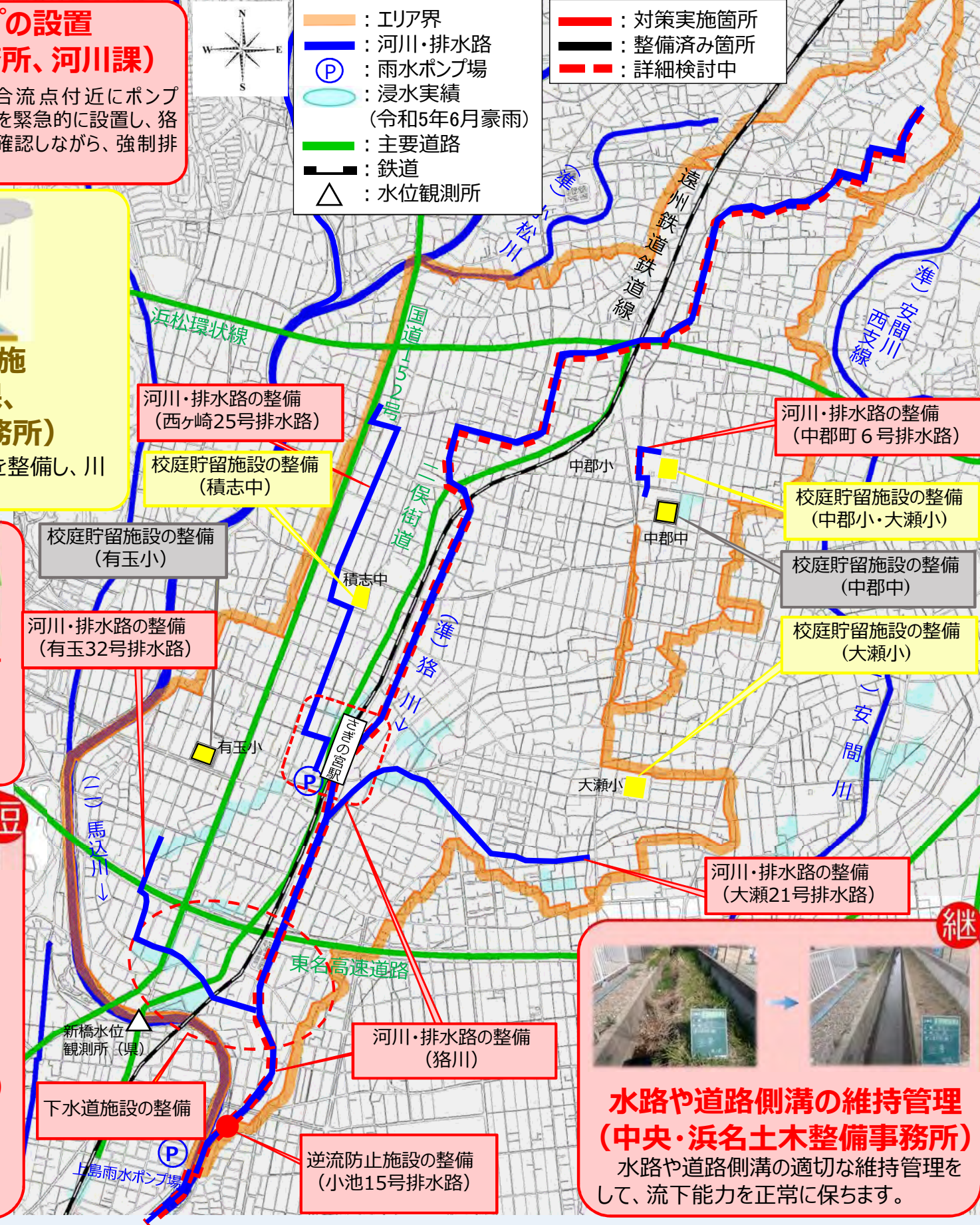
長 下水道施設整備検討 (下水道工事課)

下水道施設の整備を行い、雨水処理能力をさらに高めます。

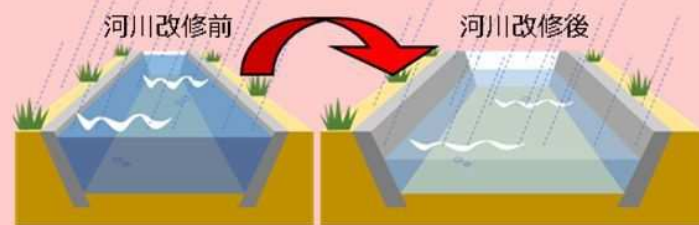


短 逆流防止施設設置 (中央土木整備事務所)

逆流防止施設を設置し、猪川からの逆流を防ぐことで浸水被害の軽減を図ります。



長



猪川の改修 (中央土木整備事務所)

下流の馬込川の流下能力に応じ能力河幅の拡幅(引堤・護岸の築造)、遊水地の整備を実施し、流下能力を高めます。



水路や道路側溝の維持管理 (中央・浜名土木整備事務所)

水路や道路側溝の適切な維持管理をして、流下能力を正常に保ちます。

継